



千葉県中小企業団体中央会会長

## 坂戸 誠一



新年あけましておめでとうござい  
ます。

平成25年の新春を迎えるにあた  
り、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年我が国の経済環境を顧みま  
すと、年前半は、東日本大震災の復  
興施策の推進や雇用・収益環境の持  
ち直し等を背景とした幅広い国内  
需要により緩やかな回復基調にあり  
ました。しかし、後半に入りますと、  
欧州政府債務危機等による金融資本  
市場の変動や海外経済の下振れ、円  
高の進行とその影響、電力供給の制  
約とそれに伴うコスト増、さらには、  
近隣国との関係悪化による経済の  
停滞などにより後退局面を迎えま  
した。また、今年の3月末で中小企  
業金融円滑化法が終了するため、資  
金繰りの不安が起ころるなど、我々中

小企業にとりましては先行きの不透  
明感を払拭できないまま越年しま  
した。

一方、政治の世界においては、世  
界の主要国で選挙があり、リーダー  
の交代によって国家の方向性や政策  
がどう変わるのか、世界中が注目し  
ていましたが、わが国においては、  
3年3ヵ月ぶりの政権交代となりま  
した。新政権には、景気対策や社会  
保障、原発・エネルギー政策、震災  
復興、外交・安全保障など喫緊の課  
題が山積している中、混迷が続いた  
政治状況から脱却して新たな体制で  
国家をリードしていただきたいと切  
望しています。

こうした厳しい経済状況の中、中  
小企業が今後とも地域経済の屋台  
骨を担い、その原動力としての使命  
を果たしていくためには、企業の特  
性にあった、より付加価値の高い製  
品やサービスを創出する企業に体質  
転換していくことが求められており  
ます。

更には中長期的な戦略をもって連  
携ネットワークを構築し、お互いの  
優れた経営資源を有効に組み合わ  
せ、経営革新や新分野進出など新た  
な展開を図っていくことが肝要であ  
ります。このため本会では昨年から、

県内企業が他社と連携することによ  
り新製品の開発を行うなど新たな価  
値の創出を図ろうとする場合に、そ  
の企業グループの運営支援を行う  
「千葉県中小企業連携強化推進事  
業」を実施しており、この事業を通じ  
て、地元企業が活性化することによ  
り、地域産業にも大いに貢献できる  
ものと期待をしているところです。

また、昨年8月30日に「中小企業  
経営力強化支援法」が施行され、中  
小企業に対して専門性の高い支援事  
業を行う経営革新等支援機関を国  
が認定する制度が創設されました  
が、本会も11月5日に認定を取得し  
ました。

本会といたしましては、これを契  
機に、やる気と能力のある中小企業  
が、組合等連携組織を活用して新た  
な課題にチャレンジするための支援  
機関として、今まで以上に中核的な  
役割を果たしていけるよう、決意を  
新たにしているところでございます。

結びに、会員組合の皆様におかれ  
ましては、組合員の力と英知を組合  
組織に結集して、ますますのご発展  
を遂げられますとともに、この新し  
い年が皆様にとりまして、良い年に  
なりますよう、心からご祈念申し上  
げ、年頭の挨拶といたします。



千葉県知事

## 森田 健作

明けましておめでとございます。

千葉県中小企業団体中央会並びに会員企業の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ちばアクアラインマラソンを開催し、県内外から約1万4千人のランナーに参加いただき、千葉県の魅力とおもてなしの心を、全国に発信することができました。多くの皆様に御理解、御協力をいただき、改めて御礼申し上げます。県ではこれまで、総合計画「輝け！ちば元気プラン」にもとづき、「くらし満足度日本一」を目指して取り組んでまいりました。

今春には、首都圏中央連絡自動

車道の東金・木更津間43キロメートルが開通します。アクアラインの料金引き下げ効果も生かしながら企業誘致施策と観光客誘致を展開するとともに、大栄・横芝間の用地取得に向けた取り組みを進め、圏央道の全線開通が図られるよう努めてまいります。また、今年開港35周年を迎える成田空港については、官民の連携による「(仮称)成田空港活用協議会」を設立し、観光や産業の振興などの取り組みを進めてまいります。

農林水産業については、園芸農業の産地強化や、新規就業者の確保・育成などに取り組みとともに、優れた品質・魅力の積極的な発信と、計画的な放射性物質のモニタリング検査の実施により食の安全・安心の確保に取り組んでまいります。

厳しい経済情勢の中、「中小企業の元気が千葉県の元気」を旗印として、地域を支える中小企業が円滑に経済活動を進めていけるよう積極的に支援します。厳しさが続く雇用情勢に対しても、国や市町村とも連携して失業者や若年者等に対する就業支援を行うなど効果的な対策を実施してまいります。また、引き続きメガソーラーや風力

発電などの新エネルギーの導入促進を図ってまいります。

県民生活の安全・安心の確保も重要です。東日本大震災からの復旧・復興、放射性物質の対処などに取り組みとともに、災害に強い千葉県づくりを進めます。また、振り込め詐欺やひったくり対策を進め、移動交番車や防犯カメラを増やすなど、安全安心日本一の千葉県を目指してまいります。

教育や健康・医療・福祉施策の1層の充実が必要です。「いじめ」を題材にした道徳の映像教材を作成し、心の教育を充実するほか、子ども医療費の助成や保育所の整備を促進します。また、要介護高齢者等の急増への対策等に取り組むとともに、医療・福祉を支える人材の確保・育成を進めます。

本年も、皆さまとともに、「千葉で生まれ、住み、働いて良かった」と誇りに思える、光り輝く千葉県づくりを目指して、全力で取り組んでまいります。

結びに、千葉県中小企業団体中央会のみますの御発展と、会員企業の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといた



全国中小企業団体中央会会長

## 鶴田 欣也



明けましておめでとございます。

震災からの復興や成長分野への産業構造の転換が喫緊の課題となる中、我が国は昨年もデフレからの脱却を果たすことができず、日本経済は大きな岐路に立っています。今年こそ、国の礎である中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものです。

顧みますと、全国中央会の会長に就任して4度目のお正月を迎えることとなりました。最も力を注いできたことは、大きく二つあります。一つは、①中央会の存在価値をアピールすること、もう一つは、②中央会・組合間の情報の共有化を図り、中央会の職員一人一

人が生き生きと働けるようにすることです。中央会トップセミナー、中央会事務局長会議の開催、参加型の中央会指導員研修など中央会間の情報の共有化を図るため、各層ごとに幾重にも直接語らう場を設けましたが、今後とも、関係各位の積極的な参画をお願いいたします。全国中央会としても、それをしっかりと受けとめていきます。

「組合絆 ルネサンス」の結実に向けて

衆議院解散による予算編成の遅れ等による景気減速、中小企業金融円滑化法の期限到来による資金繰りや消費税の引上げに対する不安、エネルギーの安定供給への危惧など先行きが見えない状況を何とかとしても打開していく必要があります。

新政権には、一日も早く中小企業が再び元気を出して頑張れるような政策展開を何よりも期待するものです。そして、全国の中小企業がどの地域においても組合等連携対策をはじめとする政策支援が受けられるようきめ細かな支援体制が採られることが必要不可欠です。

このような状況下、政府では、小規模企業施策や支援体制を抜本的に強化し、海外展開の更なる支援、下請取引の適正化、事業承継・技能承継、若手・女性層の創業等を推進することとしています。このことは、中小企業組合等中小企業団体が果たすべき役割を高めるものと考えています。

東日本大震災は、中小企業間での復興連携、今後には備えての防災連携など地域市民を巻き込んだ新たな関係性による産業再構築の契機となったのではないのでしょうか。中央会として、絆と共感の中に、そのための仕組み、風土をつくり、日本の未来の可能性を作り出していきたいものです。

この歴史的転換と言える今、中小企業組合等中小企業団体の皆様におかれましても、中小企業の発展のため共に力強く前へと邁進いただきますようお願いいたしますとともに、本年が皆様にとっても、忘れられない素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦

株式会社 商工組合中央金庫  
千葉支店長

## 佐々木 渉

平成25年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は東日本大震災からの復興や、タイの洪水からの挽回生産、エコカー補助金の復活などにより、春頃まで持ち直しの動きを見せました。しかしながら、その後は欧州や中国経済の減速、長引く円高などによる輸出の減少に加えて、エコカー補助金の終了といった政策による押し上げ効果の剥落といった要因等により、国内景気は厳しい状況にあり、先行きの不透明感も強くなっています。中小企業の景況については、当金庫の「中小企業月次景況観測」

でみますと、景況判断指数は平成24年3月に48.7と東日本大震災以前の水準近くまで回復するなど、一時は持ち直しの兆しが見えましたが、その後は一進一退を続けながらも緩やかに低下してきました。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み中小企業の皆さまや、円高等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みしました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万4千件、1兆9千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、11万9千件、7兆4千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、成長戦略総合支援プログラムを活用するなど、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、昨

年10月に上方修正した「3年間で5千億円の成長マネー供給」という目標に対し、累計実績で7千件、4千億円を超えるなど着実に成果を上げることができました。

本年も先行き不透明な金融・経済環境が続くことが予想されますが、商工中金としましては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

## 共同購入と調達業務代行により根底より組合員を支える

### 丹後機械工業協同組合

**組合員の短納期への対応力、コスト競争力そして品質向上を基盤から支えることで、丹後地域のものづくり産業を支える重要拠点として機能している。**

#### 背景と目的

当組合は、京阪神からのアクセスが悪い丹後地域において、調達しにくい各種材料や工具の共同購入を目的とし、昭和23年に設立した組合である。

現在では、交通の便が設立当初よりも大きく改善し、上記のような地理的なデメリット克服を目的とした事業活動から、煩雑な調達先との交渉機能及び調達業務のオペレーション代行というような機能面での支援をコアとした共同事業となっている。

主要設備の事務棟、第一工場棟、第二工場棟および高圧ガスボンベ庫に加え、関連施設として協業組

合丹後熱処理センターや高周波熱処理装置等があり、施設全体として技術集積を図ることで多様なニーズに対応する体制を整えて組合員支援を行っている。

#### 事業・活動の内容

事業の中心は、共同購入と調達業務のオペレーション代行機能である。

当組合の業務は、共同購入というよりも、調達オペレーションの共同化により、組合員の業務軽減を支援するという性格を持ち、組合員の要望に基づき鋼材メーカー等との折衝を代行している。

調達方法は、鋼材の値上がりが見込まれるアイテムやコンスタントな受注が見込めるアイテムを中心に「鋼材の種類」「含有物質の内容」「サイズ」「直径」別に常時数千アイテムを在庫する在庫対応型と、含有する物や比率の違いに

対応するオーダーメイドのアイテムを中心とする受注発注型の2つの調達方法を駆使し、組合員のニーズに対応している。また、組合員の一次加工への対応もニーズが高く、指定寸法に切断加工して納品するという加工型の対応も行っている。

#### 活動の成果

要望価格や短納期要請への対応が組合員の円滑な生産活動に寄与し、共同購入額は平成22年度に612,531千円にまで高まっており、品目別には鋼材関係57%、工具関係43%となっている。リーマンショックや東日本大震災の影響が懸念されているが収益性は安定しており、10%程度の利益率を維持している。

組合員においても、コスト競争力や短納期対応力が実現し、関連施設の協業組合丹後熱処理セン

ターにより、熱処理機能を持たない組合員が材料の強度を上げるなど品質向上にも寄与している。



組合ホームページ

### 丹後機械工業協同組合

住所：〒627-0042  
京都府京丹後市峰山町長岡1620-1  
設立：昭和23年10月  
出資金：94,543千円  
電話：0772-62-0263  
URL：<http://tango-tc.jp/>  
業種：金属加工業、機械類修理業  
組合員：106人  
組合専従者：10人（うち専従理事2人）



このコーナーでは、連携組織の活性化に意欲的に取り組む県内の組合事例等をご紹介します！

事業の概要

補助事業名	連携組織活性化研究会			
対象組合等	八街駅南口商店街振興組合			
	▼組合データ			
	理事長	秋山 勝治	住所	八街市八街ほ 237
	設立	平成 14 年 4 月	業種	小売店、飲食店中心の異業種
	組合員	59人		
テーマ	一店逸品等の研究による商店街の活性化			
担当部署	千葉県中小企業団体中央会 商業連携支援部 (TEL: 043-306-3284)			
専門家	NPO 法人一店逸品運動協会 理事長 太田 巳津彦 (中小企業診断士)			

3年がかりの運動

JR八街駅前に位置する八街駅南口商店街では、足掛け3年にわたって、一店逸品運動に取り組んできた。少人数ながら、時間をかけて、腰を据えて一店逸品運動に取り組んできた。

まず、初年度(平成22年度)は、逸品運動を組合員に認知してもらうために、講習会を3回ほど開催した。講習会では、一店逸品運動と逸品の概念についてレクチャーするとともに、逸品を考えるためのベースとなる、各店の現状についてグループディスカッションを行った。

2年目(平成23年度)は、逸品研究会を中心に、具体的な逸品の検討を行った。逸品研究会は6回開催し、お客様の見直し、自店の見直し、逸品の検討、キャッチコピーの作成、店頭ディスプレイの方法などについて、具体的な検討を重ねた。

3年目(平成24年度)は、2年目の逸品研究会の総仕上げとして、7月に「やちまた逸品まつり」を開催し、逸品のお披露目を行った。逸品運動の参加店は11店で、各店の逸品は、以下のとおりである。

<表：各店の逸品とキャッチコピー>

店名	逸品名	キャッチコピー
ぼっち	元祖 焼きしそ巻き	おい「しそ」～な! 鉄板 焼きしそ巻き!
サンエトワールいこい	やちまた落花生パン	もちり、もちもち 米粉の落花生パン
スギハラ	中古カメラ	中古カメラも捨てたもんじゃございません
コットン村イトウ	持ち手	好きな「取っ手」手にとってみて～!
板倉履物店	ASAHI フローラ	履いて優しい! 歩いて楽しい!
秋山百貨店	ガーゼハンカチ、手拭	夏⇒汗⇒ガーゼ綿 100%⇒爽やか～
平林のだんご	竹細工	趣味が生んだ 伝承したい逸品
サンドリオン	八街クッキー	ちょっと食べたい、もっと食べたい ざっくり素朴な落花生お菓子
ひらやま整体院	玉川温泉ドーム型サウナ	日本の温泉最高! 成分をもってきました
田久保分店	チョイかごセット	気持ち選んで! 八街ピーナツかごセット
さいくるパークささき	クロスバイク	トラック1台分の新薬より自転車1台

仲間づくりの成果

講習会から逸品まつりまで、3

年間にわたる定期的な会合を通じて、参加店相互の理解は着実に深まった。特に、逸品研究会では、各店の扱い商品、店主の考えやこだわりなど、真剣に商売の話をすることができたことは意義深い。少人数でのスタートだったことが幸いしたと思うが、胸襟を開いて、商売の話のできる「仲間づくり」ができたわけである。一店逸品運動を通じて、「本音で付き合える仲間づくり」という基盤ができあがったことは、これからの商店街活動にとって貴重な財産となるだろう。

参加店の拡大が課題

今回は少人数でのスタートだったため、商売の見直しや仲間づくりといった着実な手応えが得られた。しかし一方、告知効果という点や、商店街全体の活性化という点では、十分な成果があげられたいとは言い難い。商店街全体の運動としてゆくためには、参加店の拡大は不可欠である。また、今回の経験を踏まえて、運動として継続していくことも重要である。今後、八街駅南口商店街の一店逸品運動が、継続拡大し、地域に根づいた運動へと発展してゆくことに期待したい。

## 一店逸品運動のツボ

前述したように、八街駅南口商店街では、一店逸品運動にじっくり腰を据えて取り組んでいただけた。これは、逸品運動の実質的なリーダーである「ぼっち」の小野さんが、逸品運動の本質をよく理解してくれたためである。そこで、以下に逸品運動の本質（ツボ）についてまとめてみたので、参考としていただきたい。

### ①「基本は逸品研究会にあり」

逸品運動の基本は、研究会にある。定期的に参加者が集まり、逸品の検討をしていくのが、逸品研究会である。研究会では、お店のこと、お客様のこと、そしてお互いの逸品について、腹を割って話し合う。品揃えの見直しの延長線上に逸品があるわけだから、品揃えの前提とな



る、お店の特徴や対象客層について、まずは話し合う。研究会の最終目標は、個店の逸品づくり、逸品さがしにある。一人で考えていると、どうしても偏った思考になったり、壁に突き当たったりしてしまったりである。最終的には、各店が自分で逸品を決めなければいけないわけだが、他の人と話し合うことでヒントが得られたり、勇気づけられたりする。逸品研究会に参加していくことが、逸品運動を継続していく原動力となるのである。

### ②「時間をかける」

よく、「逸品研究会から逸品フェア開催まで、1年近くかかるのは、長すぎるのではないか」といったご質問を受ける。そんなとき、私は、「かかるのではなく、あえて時間をかけているのです」とお答えしている。研究会で大切なのは、しっかりと考えることなのである。安易に即決したり、他人の意見を鵜呑みにするのでなく、自分が納得するまで、徹底的に話し合うことが大切である。逸品について、悩めば悩むほどよいので、そうすれば、より一層、逸品への思い入れが深まる。思い入れのある逸品だからこそ、一所懸命すすめるのである。また、店頭ディスプレイやPOPにも工夫

を凝らす。おすすめの話法にも迫力がでてくる。すなわち、逸品の検討に時間をかけることで、逸品への思い入れが深まり、「一人でも多くのお客様に逸品を知っていただきたい」との願いから、演出技術や接客手法がレベルアップする。こうして、逸品をきっかけにお店が活性化するわけである。

### ③「楽しい研究会が大切」

逸品研究会では、小グループに分かれて話し合いをする。グループのメンバー構成は、発想を豊かにするためと、気兼ねなく発言するために、あえて異業種の組み合わせにする。研究会は、あくまでも話し合いの場であって、会議ではない。何かをまとめたり、決議することはしない。眉間にしわを寄せ、堅苦しい会議をするのではなく、多少の雑談や時には少々脱線しながら、和気あいあいとした雰囲気での話し合いが大切である。楽しい研究会からは、お客様にとっ

て楽しい逸品が生まれるのである。また、一店逸品運動に継続して参加しているお店の多くの方から、「研究会が楽しいから参加している」との声をよく聞く。今や、商店街で行われなくなってしまう「どっくばらんに話し合うこと」が

逸品研究会では行われていて、参加者はそんな話し合いが楽しいと感じているのだろう。

一店逸品運動とは、逸品研究会そのものであり、逸品フェアや逸品カタログは1年間続けてきた研究会の成果のお披露目であり、結果に過ぎない。逸品を探したり、作り上げていくプロセスである逸品研究会の存在こそが、逸品運動の基本なのである。

### ④「すべてを、自分たちで考え進める」

一店逸品運動では、逸品の検討からカタログの作成までを全員で行うことを基本としている。誰かに任せるのではなく、あくまでも自分たちの運動としていくために、手間暇がかかっても、あえて手作りで進めていく。前述したように、逸品の検討は研究会で行うが、逸品フェアについては、別途、委員会やプロジェクトチームを編成して検討していく。具体的には、逸品カタログの作成、広報活動、逸品フェア期間中のイベントなどについて検討する。このように、全員参加型で逸品フェアを行うことで、当事者意識が強くなり、逸品運動継続の原動力となるのである。

(中小企業診断士 太田 巳津彦)



<p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 清水 延年</p>	<p>千葉県農業機械商業（協） 理事長 小関 邦夫</p>	<p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p>	<p>千葉県石油（協） 理事長 堀江 亮介</p>	<p>千葉県醤油工業（協） 代表理事 太田 昭吉</p>
<p>千葉県印章（協） 代表理事 宮崎 勝治</p>	<p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 花澤 長文</p>	<p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田一太郎</p>	<p>千葉県自転車軽自動車商（協） 代表理事 山口 道博</p>	<p>千葉県遊技業（協） 理事長 大城 正準</p>
<p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 理事長 真田 一伸</p>	<p>千葉県建設防水工事業（協） 理事長 糠信 雄司</p>	<p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p>	<p>千葉県生コンクリート工業組合 理事長 鈴木 実</p>	<p>千葉船業（協） 代表理事 田原 安</p>
<p>千葉市廃棄物リサイクル事業（協） 代表理事 飯田 俊夫</p>	<p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 中嶋 敏夫</p>	<p>千葉防食ライニング工事業（協） 理事長 阪野 幸夫</p>	<p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 矢島 一郎</p>	<p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 鈴木正一郎</p>

<p>千葉鉄工業団地 (協) 代表理事</p> <p>坂戸 誠一</p>	<p>千葉市工業センター (協) 代表理事</p> <p>黒木 憲一</p>	<p>野田工業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯塚真太郎</p>	<p>千葉県板硝子商工 (協) 代表理事</p> <p>成田 一郎</p>	<p>千葉トヨペット整備工業 (協) 代表理事</p> <p>勝又 隆一</p>
<p>千葉青果商業 (協) 代表理事</p> <p>上野 宏幸</p>	<p>千葉県貿易 (協) 代表理事</p> <p>越部 圓</p>	<p>野田市中里排水処理 (協) 理事長</p> <p>辻 弘之</p>	<p>千葉中央生コンクリート (協) 理事長</p> <p>柴田 文成</p>	<p>(協) 千葉設備協会 理事長</p> <p>池田 潔</p>
<p>八千代市管工事 (協) 代表理事</p> <p>酒井 保</p>	<p>(協) シー・ティー・ティー 代表理事</p> <p>青沼 彰</p>	<p>市原市管工事 (協) 代表理事</p> <p>斎藤 寛</p>	<p>送変電機器千葉 (協) 代表理事</p> <p>菊池 康文</p>	<p>千葉県保険流通 (協) 代表理事</p> <p>矢部 元茂</p>
<p>千葉港湾運送事業 (協) 理事長</p> <p>公手 眞</p>	<p>船橋機械金属工業 (協) 代表理事</p> <p>板谷 直正</p>	<p>船新青果小売商業 (協) 代表理事</p> <p>藁 國夫</p>	<p>船橋総合卸商業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p>	<p>千葉学習塾 (協) 代表理事</p> <p>長谷川洋男</p>

<p>ふなばしインタックス(協) 代表理事 篠原 敬治</p>	<p>松戸ビル管理業(協) 代表理事 山下 勉</p>	<p>野田市再資源化事業(協) 代表理事 西村 久行</p>	<p>柏駅前第一商業(協) 代表理事 三好 迪夫</p>	<p>柏市管工事(協) 代表理事 青山 貞夫</p>
<p>柏市工業団地(協) 代表理事 藤井 秀美</p>	<p>流山トラック事業(協) 代表理事 伊ヶ谷武雄</p>	<p>流山工業団地(協) 代表理事 高橋 啓治</p>	<p>浦安建設(協) 代表理事 鹿野新一郎</p>	<p>浦安市書店(協) 代表理事 小林 栄喜</p>
<p>野田市商業(協) 代表理事 仲長 孝</p>	<p>浦安市リサイクル資源(協) 代表理事 醍醐 辰雄</p>	<p>印旛食肉センター事業(協) 代表理事 小川 進</p>	<p>臼井ショッピングセンター(協) 代表理事 野口 恭義</p>	<p>四街道工業団地(協) 代表理事 清水 敬陽</p>
<p>(協)酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p>	<p>(協)佐原信販 代表理事 鈴木 重夫</p>	<p>千葉県木材市場(協) 代表理事 吉岡 實</p>	<p>(協)東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p>	<p>山武管工事業(協) 代表理事 加藤 洋三</p>



<p>千葉県漬物工業（協） 代表理事 古宮 真一</p>	<p>千葉市下水管路維持（協） 理事長 山本 剛</p>	<p>大原中央商店街（協） 代表理事 土屋 利夫</p>	<p>長生都市管工事（協） 代表理事 小関 正幸</p>	<p>海匠ガス事業（協） 代表理事 佐藤 衛</p>
<p>千葉県印刷工業組合 代表理事 日暮 秀一</p>	<p>千葉県電機商業組合 代表理事 佐々木 義</p>	<p>柏市廃棄物処理業（協業） 代表理事 鈴木 隆</p>	<p>千葉県建設業（協）連合会 代表理事 石井 良典</p>	<p>（協）システムネット北千葉 代表理事 原 富義</p>
<p>柏建設業（協） 代表理事 山田 邦明</p>	<p>（振興）柏二番街商店会 代表理事 石戸新一郎</p>	<p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事 宮崎 登</p>	<p>千葉県鍍金工業組合 代表理事 瀧澤 近弘</p>	<p>千葉県牛乳商業組合 代表理事 高橋 束</p>
<p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事 山口 真延</p>	<p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長 田村 修二</p>	<p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会会長 鹿野新一郎</p>	<p>千葉県自動車販売店協会 会長 加藤 勇</p>	<p>（社）千葉県エルピーガス協会 会長 山川 宏</p>

情報連絡員報告を中心とした  
県内の中小企業動向（11月）

## 製造業

### 豆腐製造

【県下全域】

冬向け需要が伸びてきた。景況が向上している兆候を感じている。

### 製材

【木更津】

11月末に南洋材が一船入港。米材、ロシア材の入港はなし。

### 印刷

【県下全域】

売上高は前月比で若干だが好転した模様。特に衆議院選挙関連の仕事で政党・候補者・官庁から受注している企業は大変忙しい様子。商業印刷を中心とする企業は年末商戦の仕事に希望を抱いている。用紙の在庫が増加中。

### 生コン製造

【県下全域】

全国的に出荷量増加。市況上向き。

### 電気鍍金

【千葉】

景況は依然として悪い。

### 鉄工業

【千葉】

全体景況の「生産減少」による影響がかなり出始めてきている。そのため、代表者の景況感大きく落ち込んでおり、雇用・設備投資は様子見状態統一している。

### 機械部品製造

【野田】

現状は落ち着いているが、一部に先行き不安の声が出て

来た。

### 機械部品製造

【流山】

業種により売上が若干増加しているが、先行きは不透明。電気料金が値上げになり、製造コストが増加、企業負担は大きい。

### 機械部品製造

【柏】

前月同様全体的に低調。自動車は長引く要素大。半導体不調等、受注減と閉塞感が現状。海外戦略に苦慮（中国リスク）各上場得意先。

### 金属製品製造

【船橋】

これといった好材料は見当たらず、全般的に緩やかな悪化傾向。

### 採石

【県内全域】

東京港の港湾整備、工事の遅れにより数量が減少。横浜港の南本牧コンテナターミナル整備事業での工事を見込むが、発注時期に遅れ。川崎港でも港湾改良工事があるが数量が限定されている。

### 土砂採取

【県内全域】

採掘量は全体的には昨年比約14%減、県内全体の骨材の需要は減少傾向が著しい。地域的には、骨材の需要が悪化の一途を辿っている所や需要が今後全く見込めない所が大半。一部には需要動向が年末に向けて上向きになってきている所も見受けら

れるが、来年、新年度の状況は地域柄の出荷となりそうである程上がりそうでもない。

### 非製造業

【総合卸売 千葉県・東京都】

総じて、デフレの進行止まらず、大手小売店と取引のある卸企業は、納入価格引き下げの要請が高まっており利幅減少。

【建築材料卸売 県下全域】

コンクリートがやはり生活安全の基礎であることの再認識もあり需要は底固い。荷練りもタイトになりつつある。然し、心理的に暗い不安感があり景況感は悪いまま。

【自動車解体業 県内全域】

スクラップ価格小幅反発したが、廃車の発生台数は変わらず低調。スクラップ価格反発と円高がストンプし、小康状態。

【乾物卸売 県内全域】

消費低迷状況は変わらない。新海苔生産が始まった。全国的には順調のようである。九州地区は前年より量・質とも良い上がりであるが、東京湾地区が苦戦。

【小売 柏】

気温の変化と共に、秋冬物衣料に動きがあるが、廉価な商品が主流、収益は良くない。寒い冬が予想され、貸与時期に期待したい。

### 電気機器小売

【県下全域】

10月に引き続き11月も大変厳しい。顧客からの電話も減っている。

### 青果小売

【千葉】

野菜は全般的に安価となり、売りやすくなったが、思ったより動きが悪い。果物は主力の「みかん」が先月より上がり、こちらも動きが悪くなった。結局、前月より10%以上売上を下げってしまった。

【中古車仕入・販売 県下全域】

年末に向けた需要低下を反映した下落基調。タマ不足も相場下落を覆す程でもない。輸出については堅調な状況で前年を上回る。

### 小売

【東金】

秋がなく冬に突入の感あり。寒くなってきたので、冬対策グッズの動きがでてきた。食品等は健闘している。ファッション関連も冬への動きあり。旅行は落ち込んだ。

### 小売

【野田】

業種により差はあるが、売上は総体的に前年比で約10%程度減少。年末商戦に期待。

### 印鑑小売

【県内全域】

先月に引続き営業売上が前年を1割程度上回り、店頭売上のマイナス分を補い、全体的には売上増加に繋がった。

### 小売・サービス

【柏】

商店街のスーパーではチラシの回数を増やして昨対比を確保に追われている。各種サービスを増やした結果、収益が落ち込んでいたとの話。衝動買いが減り価格にもかなり敏感になっているようだ。

### 建設揚重

【県内全域】

稼動状況は前月同様、まあまあ。一部で不足も出てきている。しかし、価格は上昇には至らず。本年度、一番厳しい月となった。

### 建設

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は、840百万円であった。これは前月比で3,786百万円の減少であり、前年同月比でも958百万円の減少。地域別では、増額は北総、海匝。減額では千葉、香取、君津、安房、長生、山武、市原、千葉、夷隅で9地域で減少した。

### 貨物運送業

【野田】

前年比は改善したものの、前月比は大きく下回った。秋の収穫時における運送が良くなかった。

### 輸出入業

【県下全域】

厳しい環境が続いていて前月、前年同月は増加しているが、好景況感はない。



去る12月10日、千葉県庁（本庁舎5階大会議室）において、長年にわたり地域経済の発展に貢献した企業などをたたえる“千葉のちから「中小企業表彰」”の平成24年度の表彰式が行われました。

この“千葉のちから「中小企業表彰」”は、積極的な事業展開による地域経済の活性化や地域社会の発展に貢献されている県内の中小企業や商店街、また中小企業にあって地道に努力を続けて来られた従業員の方々を表彰するもので、本会が推薦した次の方々に対し、森田健作千葉県知事から表彰状が授与されました。

### (1) 中小企業表彰 3社

	名称等	表彰の理由（概要）
1	株房洋堂 (千葉県菓子工業組合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○館山市において創業の後、主として内房地域に出店し、地元の農産物を原材料とした商品等の製造・販売を行っている。</li> <li>○地元の生産農家と連携して地域の活性化を目指し、温室メロンを原材料としたメロンゼリー等を製造・販売している。</li> <li>○菓子工業組合において、原材料の共同購入に取り組み、各組合員のコストダウンにつなげている。</li> </ul>
2	マルシン工業(株) (野田工業団地協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動車機能部品を中心とする部品の再生（リビルト）のほか、自動車の修理に必要な部品全般を取り扱っている。</li> <li>○生産打ち切りとなった部品は、リビルト部品として再生・供給することにより、ユーザーのニーズに応えている。</li> <li>○電装部品の再生工程では、人手に頼っていた洗浄工程を自動化し、工数の低減、時間短縮を実現している。</li> </ul>
3	有塚田輪業社 (千葉県自転車軽自動車商協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大正3年の創業当初はリヤカーを扱っていたが、自転車の普及に伴い自転車を主力で扱い、販売整備を行っている。</li> <li>○代表者は、千葉県自転車軽自動車商協の理事長を22年間務め、強いリーダーシップで業界の振興と発展に貢献した。</li> <li>○学校や街頭などで自転車の無料奉仕点検の推進や自治体の放置自転車対策に積極的に協力し、地域に貢献している。</li> </ul>

### (2) 商店街表彰 2団体

	名称等	表彰の理由（概要）
1	松葉町商店会協 (所在地：柏市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街のマップでは、商店の位置図、紹介の他に、ウォーキングのモデルコースを掲載するなど付加価値を加えている。</li> <li>○商店会においてご当地ソングを作成し、「ふるさと祭り」で欠かすことができない曲となるなど、地域住民の交流に貢献している。</li> </ul>
2	八街駅南口商店街振興組合 (所在地：八街市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八街市の特産品の落花生をはじめ市内で生産されているお菓子や野菜などを扱う店「ぼっち」の運営を行っている。</li> <li>○twitterや商店街キャラクター「ぼっちくん」の活用により、商店街に関する情報発信を行っている。</li> </ul>

### (3) 従業員表彰 3名

	氏名（敬称略）	勤務企業等	業種	所属組合
1	鈴木 光行	鈴木化工(株) (柏市)	ポリエチレン袋等製造業	柏鷲野谷テクノパーク協
2	田邊 豊子	大高醤油(株) (山武市)	食料品製造業	千葉県醤油工業協
3	小林 金六	(株)ナルビー (市川市)	刃物製造業	千葉県貿易協

◎詳しくは千葉県HP（ホーム>しごと・産業>商工業>経済政策>中小企業元気戦略>千葉のちから中小企業表彰）をご覧ください。